



卒業生に聞く、学びと仕事のこと。

#### 心理学に興味を持ったきっかけ

高橋：今回は、私たちの先輩であり、北翔大学大学院臨床心理センターで助手を務められている中脇先生に、心理学の学びやその先の将来について、いろいろと教えていただきたいと思っています。

惣万：中脇先生、よろしくお願いします。まず、先生が心理学を勉強しようと思ったきっかけから教えていただけますか。

中脇：小学校高学年から中学校にかけて、悩みごとの絶えない時期があって、どうして自分は悩むんだろう、と思ったのがきっかけです。中学校ではカウンセラーの先生に会う機会もあり、自分もこんな仕事ができたらいいなと、漠然と考えていましたね。

#### 北翔大学では心理学を幅広く学べる！

高橋：北翔大学で心理を学んだ経験を振り返ってみて、どんな感想をお持ちですか？

中脇：仕事上のストレスや、不登校、家庭のことなど、世の中にはさまざまなこころの悩みがあります。そうした個々のニーズに合わせて、多様な心理療法や心理面接の技法などがありますが、それらを非常に幅広く勉強できるのが北翔大学の心理の特色だと思います。私は学部から大学院にも進学しましたが、一貫してその特色を感じながら勉強させてもらいました。そして勉強していくなかで、やはり心理士の仕事に就きたいという思いを強くしましたね。

高橋：本当に幅広いですよね。私は1・2年生にいろいろな授業を受けながら、この内容はカウンセリングとどのように関係があるのだろうとか思うこともありました。でも3

年生になって、すべての学びがつながっているということを実感しています。それと、人とのつながりという点では、2年生後期に行う共同研究も、北翔の心理の特色だと思います。7、8人のグループでテーマを決めて研究を進めるのですが、とてもいい経験だと感じています。

#### 心理学との向き合い方とは？

惣万：ぼくは2年生なので、まだ座学がメインですが、これから実践的な内容に入っていきます。中脇先生は臨床心理士としてカウンセリングなども行なうなかで、座学と実践の違いをどのように捉えていますか？

中脇：授業や本を通して得る知識は普遍性のあるものです。一方でクライエント（相談者）さんと向き合えば、その人ごとの個別性と出会うことになります。双方を照らし合わせることで理解が深まり、私はますます心理学への興味・関心が高まっていますね。

惣万：実践で気づいたことを、本などで再確認していく感じでしょうか。

中脇：そうですね。今すぐ実体験をすべきと言っているのではなく、学部生のうちは本をたくさん読んで知識を広げてほしいと思います。知識の蓄積は、将来活かされますから。先ほども言いましたが、そのように幅広く心理学を学べるのが北翔大学だと思います。先生方もすごく親切で、わからないことがあれば聞きやすい雰囲気ですよね。私もとてもお世話になりました。

惣万：本当に先生と学生の距離感が近いです。とても気さくで、学生の立場で考えてくれる先生ばかりですよね。

#### 学びの先に広がる多様な将来

中脇：ところでふたりは、自分の将来についてどのように考えていますか？

惣万：ぼくは吹奏楽をやっていたので、音楽と心理の関わりに興味があつて入学しました。今はアドラー心理学について積極的に調べているところです。大学院進学、そして臨床心理士の資格取得も目標しながら、幅広く学んでいるところです。

中脇：大学院修了時に臨床心理士の受験資格を得て、それから試験を受けますよね。基礎知識を頭に入れる必要もありますが、事例問題などもあるので、柔軟に考えられる応用力が求められます。そうした力を育むためにも、勉強のみならず、人間関係を大切にして大学生活を送りましょう。たくさんの人と出会いを通して、自分がどういう人間なのかを知れば、将来の目標も定まっていくと思います。

高橋：私は心理職に就きたいという思いを第一に、一般職も視野に入れて、これから就職活動に臨んでいくつもりです。

中脇：対人関係というのは、どんな職業でも重視されるスキルですから、この学科での学びは、一般企業でも応用できますよね。ふたりとも、こころの学びを将来に生かしていってくださいね。



中脇 祐紀  
Yoshinori Nakawaki

北翔大学大学院臨床心理センター助手/臨床心理士。2013年3月に北翔大学福祉心理学科卒業後、北翔大学大学院人間福祉学研究科臨床心理学専攻へ進み、2015年3月に修了。

あなたの「どうして？」に、応える学科。

# COCORO

School of Education and Culture  
Department of Psychology and Counseling Vol.02



# Hokusho no Shinri

## COCORO SNAP



北翔の心理についてもっと知りたい。

そんなあなたの声に応えて、

実際に学んでいる学生たちに聞いてみました。

北翔大学の心理カウンセリング学科に入って

感じたコト、分かったコトって

なんですか？



**SNAP 01 LUNA FURUTSUKI**  
古月 瑞那さん  
心理カウンセリング学科1年次  
札幌平岡高等学校出身

イマのジブン → 将来、子どもたちの手助けができるカウンセラーになるために毎日あらゆる事を勉強しています！



**SNAP 02 TOMOKA SASAKI**  
佐々木 朋奏さん  
心理カウンセリング学科2年次  
釧路湖陵高等学校出身

イマのジブン → 人間とは何か、何を思い考えて行動するのか、その内面に迫る研究をしたいと思っています。



**SNAP 03 KEITA SOUMAN**  
惣万 啓太さん  
心理カウンセリング学科2年次  
江別高等学校出身

イマのジブン → 「心とは何か?」という問い合わせを生涯の研究テーマとし、大学院進学に向けて勉学に励んでいます！



**SNAP 04 HIROMU MASUKO**  
益子 広夢さん  
心理カウンセリング学科2年次  
東海大学付属第四高等学校出身

イマのジブン → 子どもが抱える問題について関心があり、将来は子どもを支えられるような心理士を目指したいです。



**SNAP 05 KANA TAKAHASHI**  
高橋 彩香さん  
心理カウンセリング学科3年次  
俱知安高等学校出身

イマのジブン → 子ども達が抱える内面的な課題に目を向け、子どもへの支援のあり方について学んでいます。



**SNAP 06 AYAKA TAKAHASHI**  
高橋 彩夏さん  
心理カウンセリング学科3年次  
砂川高等学校出身

イマのジブン → 自殺問題と高齢者心理学に興味があり、将来はそれらに関わる職に就きたいと思っています。